

# 第48回全日本スキー技術選手権大会



八方尾根 「 ザ・技術選 」

## 開催要項

加盟団体WEB



八方尾根観光協会

2010年12月18日 作成資料（最終版）

八方尾根  
ザ・技術選

## ● 大会の全体像

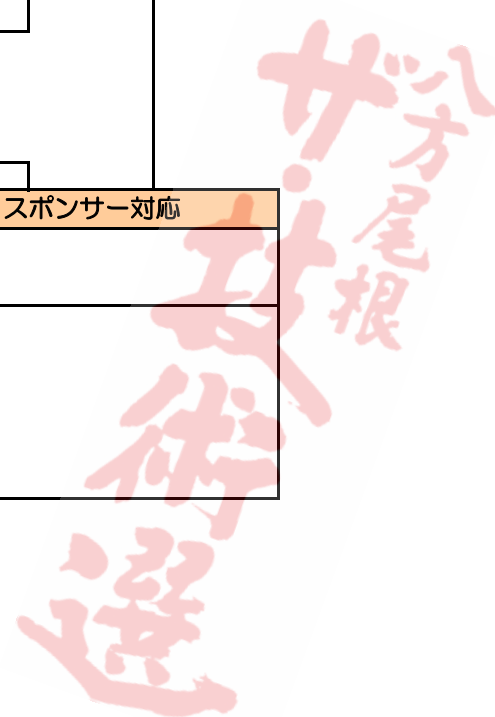
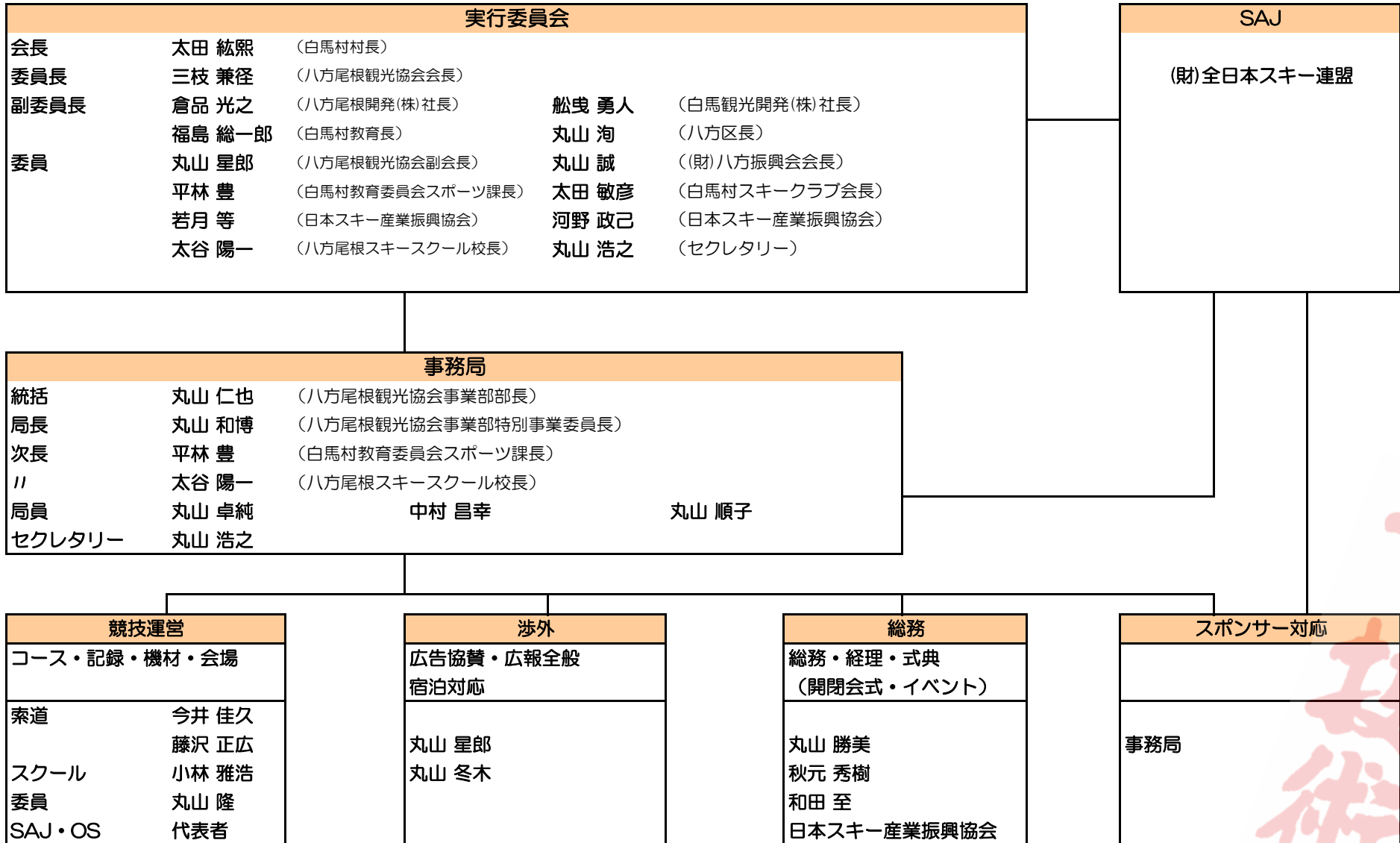
ウィンタースポーツの魅力を肌で感じスキーの活性化を図るため、多くのユーザーから支持を得られるような競技種目と斜面設定を採用しています。

そのことにより、昨年に引き続き「一般大衆と共に歩むこと・・・協調」をこの大会の性格づけにしたいと考えます。八方尾根スキー場の持つ「変化に富んだ斜面が続く地形」を最大限に活用して、技術選ファン憧れの究極的目標となる「真のスキーテクニックチャンピオン」を、高難易度のバーンにより選出します。

競技種目及び斜面設定については大回り、小回り、フリーの3種を、急斜面、総合斜面、不整地の3タイプで組合せ、同時にユーザー参加型の競技会としての性格を採用し、イベント性の高い演出に配慮した大会と致します。



● 地元実行委員会組織図



## ● 開催要項

## 《目的》

全日本スキー技術選手権大会開催規程に基づき開催される、スキーヤーの自由な表現から生まれるスキー技術の“巧さ”とその進化を競い合う大会です。出場資格は、全日本スキー連盟及び各加盟団体が行う全日本スキー技術選手権大会予選会を経た者に与えられます。

## 《主催》

財団法人全日本スキー連盟

## 《主管》

財団法人長野県スキー連盟

白馬村スキークラブ

## 《後援》

白馬村

八方尾根観光協会

八方尾根索道事業者協議会

## 《特別協賛》

## 《会期》

自 2011年03月07日（月）  
至 2011年03月13日（日）

## 《会場》

長野県 白馬八方尾根スキー場

## 《本部宿舎》

ホテル刈岳館  
〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村八方  
TEL 0261-72-2075 FAX 0261-72-4347

## 《現地事務局》

- ・開設日：2011年1月31日（月）（予定）
- ・第48回全日本スキー技術選手権大会実行員会事務局を白馬文化会館内(予定)に設置
- ・専用電話、FAX設置

## 《競技本部》

- ・開設日：2011年2月14日（月）（予定）
- ・場所：白馬八方尾根スキースクール3F
- ・加盟団体連絡用Mails : tech48@hakuba-happo.or.jp
- ・資料用Webアドレス : <http://www.hakuba-happo.or.jp/48tech/>
- ・専用電話、FAX設置



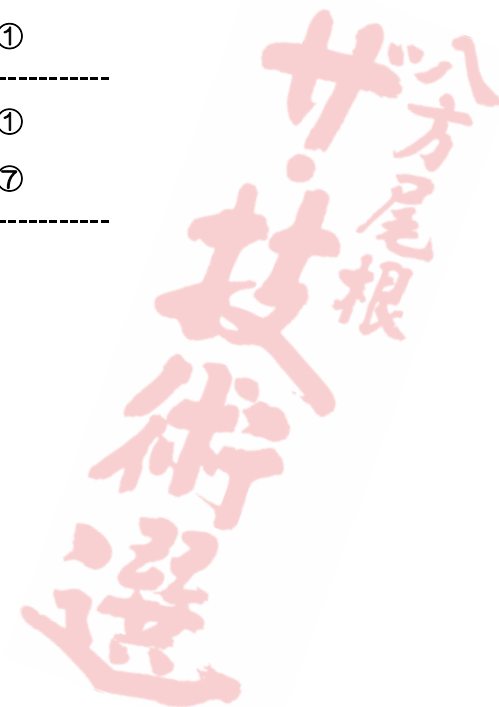
## 《大会日程》

日付	時間	行事	会場
3月5日(土)	10:00	事前受付開始	八方尾根スキースクール 3F
	15:00~17:00	マテリアルチェック	八方文化会館
3月6日(日)	9:30	オフィシャルトレーニング	競技本部 八方文化会館
	16:00	TCミーティング	
	15:00~17:00	マテリアルチェック	
3月7日(月)	08:00~10:00	マテリアルチェック	八方文化会館
	9:30	オフィシャルトレーニング	競技本部 競技本部 競技本部 八方文化会館アリーナ 八方尾根スキースクール1F (最終チェック会場のみ開催場所が異なります)
	13:00	第2回組織委員会	
	14:30	競技役員会議	
	15:30	TCミーティング	
	17:00	開会式・レセプション	
	18:00~19:00	マテリアルチェック	
3月8日(火) [予選]	9:00	予選競技開始	
	18:00	TCミーティング	
3月9日(水) [予選]	9:00	予選競技開始	競技本部
	17:30	成績発表・ドロー	
	18:00	TCミーティング	
3月10日(木) [本選]	10:00	本選競技開始	競技本部
	17:30	成績発表	
	18:00	TCミーティング	
3月11日(金) [準決勝]	10:00	準決勝競技開始	競技本部
	17:30	成績発表	
	18:00	TCミーティング	
3月12日(土) [決勝]	10:00	決勝競技開始	白馬ジャンプ競技場  名木山イベントサイト(テント村) 本部宿舎
	13:00	イベント セレモニー(決勝進出選手)	
	14:00	閉会式・表彰式	
		フラワーセレモニー SAJ役員会議	
3月13日(日)		予備日	



## 《競技日と種目》

日付	競技ランク	競技種目	斜面設定	会場	会場地図番号
3月8日(火) 第1日目 (2種目)	[予選]	フリー	総合斜面	ウスバゲレンデ	①
		小回り	整地斜面	セントラルコース	②
3月9日(水) 第2日目 (2種目)	[予選]	大回り	総合斜面(人工ウェーブ)	名木山ゲレンデ 正面	③
		小回り	不整地斜面	名木山ゲレンデ オオカベ	④
3月10日(木) 第3日目 (2種目)	[本選]	フリー	総合斜面	ウスバゲレンデ	①
		小回り	整地斜面	セントラルコース	②
3月11日(金) 第4日目 (4種目)	[準決勝]	小回り	不整地斜面	ウサギ平ゲレンデ 新コース	⑤
		大回り	整地斜面	ウサギ平ゲレンデ 正面	⑥
		小回り	整地斜面	セントラルコース	②
		フリー	総合斜面	ウスバゲレンデ	①
3月12日(土) 第5日目 (2種目)	[決勝]	フリー	総合斜面	ウスバゲレンデ	①
		小回り	総合斜面	白馬ジャンプ競技場 ラージヒル	⑦
3月13日(日)	[予備日]				



《コース図》

会場地図番号          会場

---

- ①      ウスバゲレンデ
- ②      セントラルコース
- ③      名木山ゲレンデ 正面
- ④      名木山ゲレンデ オオカベ
- ⑤      ウサギ平ゲレンデ 新コース
- ⑥      ウサギ平ゲレンデ 正面
- ⑦      白馬ジャンプ競技場 ラージヒル



ガッパ  
方尾根  
技術選

## 《競技方法》

- 1 規定された斜面において種目内容を演技します。
- 2 前年度大会の決勝進出者は予選出場を免除し、本選からのエントリーとします。
- 3 本選の出場者は、予選合計得点順位の男子120位、女子60位までと、予選免除の選手とします。
- 4 準決勝の出場者は、本選合計得点順位の男子120位、女子40位までとします。
- 5 決勝の出場者は、準決勝までの総合得点順位の男子60位、女子20位までとします。
- 6 本選のドローは、予選終了後行います。
- 7 準決勝は、班構成の組み換えを行い、班別のローテーションを行います。
- 8 決勝は、準決勝までの総合成績を逆順（リバーススタート）にスタートします。
- 9 予選から決勝まで、原則として女子班の競技を先に行います。
- 10 審判方法は5審3採用とし、最高点と最低点をカットし3審の配点の合計点を種目得点とします。
- 11 その他は、最新の競技規則及び運営細則によります。ただし、加盟団体が行う予選大会は、この限りではありません。

## 《出場資格》

出場者は、以下の各号に掲げる内容を満たしていなければなりません。

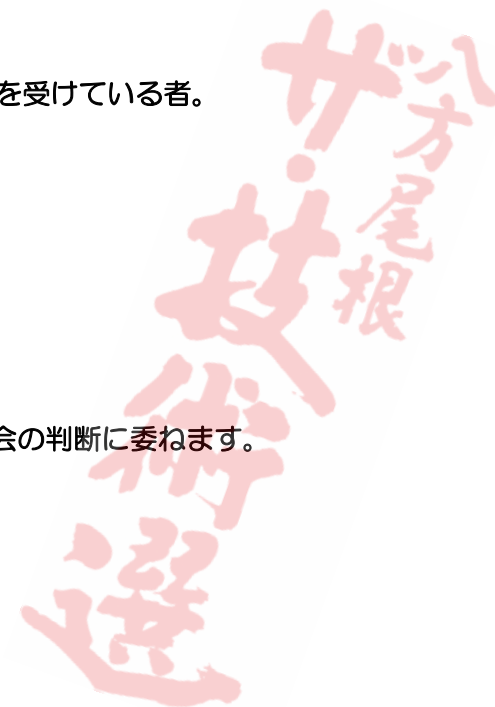
- 1 日本国籍を有する者。
- 2 当該年度の本連盟会員登録を行っている者。
- 3 各保険会社の傷害保険に加入済みの者。保険未加入者は出場できません。
- 4 加盟団体が主催する予選会の申し込み時点で、満18歳以上であり、SAJバッジテスト1級以上の認定を受けている者。
- 5 加盟団体が主催する予選会を通過し、加盟団体長の推薦を受けた者。
- 6 本連盟会長が出場を認めた者。

## 《参加枠》

加盟団体の出場者数の枠は、組織委員会で決定し告知します。

## 《順位の決定》

総合成績は、本選・準決勝・決勝の合計得点の多い順とします。全種目実施ができない場合の順位決定は組織委員会の判断に委ねます。最終総合成績において、同点順位となった場合は準決勝種目の合計点にて順位を決定します。



## 《表彰》

- 1 総合成績の男子10位、女子10位まで、賞状及びメダルを授与します。
- 2 総括審判長の推薦により、新人賞の特別表彰をすることがあります。
- 3 表彰の対象者には、副賞を授与することがあります。

## 《申込方法》

実行委員会より加盟団体に送付される様式によります。デジタルデータ形式の資料を添付（CD-R）してください。

- 1 男女別のランキングを明記してください。
- 2 加盟団体またはブロックの予選会の成績を添付してください。
- 3 デジタルデータは、下記のアドレスより取得して下さい。  
<http://www.hakuba-happo.or.jp/48tech/>

## 《申込先》

下記の申込先（2ヶ所）へ郵送にてお申込み下さい。

## （正文書）

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内  
（財）全日本スキー連盟 第47回全日本スキー技術選手権大会係あて、

## （副文書）

〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村八方3901 白馬八方尾根スキースクール3F  
第48回全日本スキー技術選手権大会 競技本部あて

## 《申込〆切り》

2011年2月10日（木）

SAJ事務局及び実行委員会に必着

※加盟団体の出場枠による推薦者のみ



## 《抽選》

予選出場者の抽選は、TD（代理を含む）立会いの上、2011年2月15日（火）を予定しています。

## 《参加料》

加盟団体は、選手1名につき10,000円の参加料を本連盟指定口座へ納入してください。  
ただし、補欠選手は出場が決定した時点で現地大会事務局に納入してください。

[本連盟指定振込口座]

みずほ銀行（001）渋谷支店(210)

普通預金501194（財）全日本スキー連盟 会長

## 《宿舎申込》

現地実行委員会事務局より送付される案内または要項に準じて加盟団体ごとに手配してください。

## 《その他》

- 1 出場選手の変更及び資格変更等の届出は、開会式当日の13時までに書類を組織委員会あてに提出してください。
- 2 TCミーティングへの出席は、監督またはコーチ1名とします。  
ただし、特別の事情がある場合は、事前に競技本部に届け出てください。
- 3 組織委員会において、日程、種目、参加枠及び運営全般に関わる事項の変更が決定した場合は、その内容を加盟団体に告知します。  
ただし、直近または大会期間中の場合は、TCミーティング、公式掲示板に掲示して告知します。



## 《全日本スキー技術選手権大会競技規則》

## (公式用品用具の使用に関して)

- 1 選手は本連盟公式用品委員会において認定された用具、用品を使用し、用具・用品に表示される商標及び社名は、本連盟規定によるもの以外は認めません。ただし、本項の規制範囲は、開、閉会式等の公式の場所及び競技会場において 点呼を受けたときからフィニッシュするまでとします。
- 2 プレートは市販商品の正常な使用法に限ります。改造もしくは複数商品を複合した使用法は認めません。
- 3 出場する選手が本大会の予選種目から決勝種目まで使用できるスキーは計2台までとします。
- 4 選手が着用を許されるウェアは市販されている、あるいはされるルーズフィットなものとし、レーシングスーツ（ワンピース・ツウピース）は認めません。
- 5 前2項のチェックについては、別途告知します。

## (帽子等の着用に関して)

- 1 競技中は頭部を防護するものを着用しなければなりません。  
スピード系種目（大回り・フリー）については、必ずヘルメットを着用して下さい。

## (ビブの着用に関して)

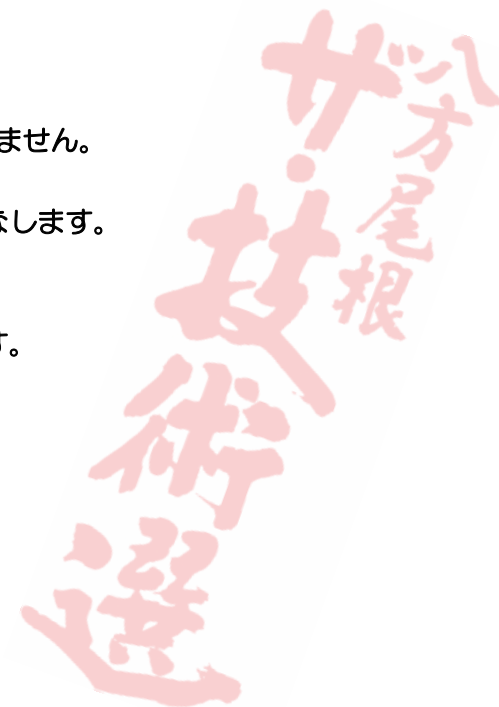
- 1 インスペクション等でコート内に入る場合は必ずビブを外側に着用すること。

## (スタートの要領に関して)

- 1 選手は、各種目ともスタート地点に10分前に集合し、スタート審判の点呼を受け、応答しなければなりません。
- 2 選手は前者の出発後、ただちにスタート位置につき準備を整えます。
- 3 選手はスタート審判の合図により出発します。ただちに出発しない場合は当該種目を棄権したものとみなします。

## (フィニッシュの要領に関して)

- 1 フィニッシュはコート下部の左右にある目印を結ぶフィニッシュラインの通過をもって演技終了とします。



## (演技の中断等に関して)

- 1 演技を中断した場合は、その位置で体勢を整え再スタートします。  
中断が長引く場合は、総括審判長の指示に従ってください。
- 2 選手は係員の幫助を受けることができます。
- 3 やむを得ず途中棄権する場合は、その旨を係員に告げ、速やかにコート外に移動してください。  
この場合は、当該種目の得点は0点としますが、次の種目からの出場権は維持されます。

## (コートインスペクションに関して)

- 1 コート設定後のインスペクションは原則としてコート外から行ってください。  
ただし、必要があるときは、事前に告示、通告し、横滑りによりコート内に入れることがあります。

## (抗議に関して)

- 1 抗議は監督またはコーチが書類をもって、セクレタリーに提出します。  
ただし、急を要する場合は、当該コートの総括審判長に申し出ることができます

## (その他)

その他必要がある事項は別途定め、チームキャプテンミーティングに提案、承認を受けることとします。



## ● 大会運営組織 (敬称省略)

## 《大会役員》

大会会長	鈴木 洋一					
大会副会長	吉田 肇	坂本 祐之輔	児玉 幹夫			
大会顧問	太田 紘熙	菅 秀文	丸山 庄司	青木 巖	五十嶋 博文	平川 仁彦
大会委員長	齋藤 二郎					
大会委員	窪田 徳右衛門	福島 総一郎				
	下川 正剛	太谷 正治	小林 英雄	高橋 賢一	田中 栄一	柏原 良章
	松沢 貞一	太田 修	太田 伸子	篠崎 久美子	横田 孝穂	
	太田 敏彦	中村 堅	永井 裕二			
	倉品 光之	松沢 茂	舩曳 勇人	横川 定男	早田 伸二	
	三枝 兼径	丸山 星郎	太谷 康夫			

## 《組織委員会》

委員長	齋藤 二郎				
副委員長	三枝 兼径	倉品 光之	舩曳 勇人		
委員	山田 隆	増田 千春	登山 一成	五十嵐 憲雄	市野 聖治
	宮津 久男				
	太田 敏彦	平林 豊	丸山 仁也	丸山 和博	森 信之
	太谷 陽一	丸山 浩之			



## ● 大会実行委員会 (敬称省略)

## 《実行委員》

会長	太田 紘熙			
委員長	三枝 兼径			
副委員長	福島 総一郎	倉品 光之	船曳 勇人	丸山 洵
委員	丸山 星郎	丸山 誠	平林 豊	太田 敏彦
	太谷 陽一	丸山 浩之	若月 等	河野 政己

## 《事務局》

統括	丸山 仁也			
局長	丸山 和博			
次長	平林 豊	太谷 陽一		
局員	丸山 星郎	丸山 卓純	中村 昌幸	丸山 順子
	今井 佳久	秋元 秀樹	藤沢 正広	和田 至
	丸山 浩之	義煎 信也	小林 雅浩	丸山 隆
	丸山 勝美	丸山 冬木		

## 《競技本部》

コントローラー	太谷 陽一		
セクレタリー	丸山 浩之		
本部員	丸山 宏充	伊藤 妙子	丸山 英二



● 競技役員（案）（敬称省略）

技術代表		森 信之		
TDアシスト	A:	渡部 三郎	B:	松ノ木 敏雄
コーディネーター	A:	市野 聖治	B:	千葉 一之
競技委員長		清水 伸也		
競技副委員長		武井 香樹		
レフリー		(ブロック代表者より選出)		
セクレタリー		丸山 浩之		
アシスタントセクレタリー		小林 雅浩		
統括審判長	A:	関口 淳	B:	佐々木 孝文
審判長	A:	我満 嘉治	B:	浜辺 秀樹
審判員		(イグザミネーターより選出)		
競技係長	A:	輪湖 由彦	B:	渡辺 壮介
コート係長	A:	小野 卓二	B:	東 一之
コート主任	A:	小野 雄一郎	B:	山崎 友貴
コート係	A:	(開催地)	B:	(開催地)
スタート審判		(イグザミネーターより選出)		
スタート係長	A:	(開催地)	B:	(開催地)
計時計算係長		丸山 隆		
計時計算係	A:	宮崎 友見子	B:	伊藤 嘉一
記録係	A:	(開催地)	B:	(開催地)
会場設備機材係長	A:	棚瀬 之浩	B:	下城 弘之
会場設備機材係	A:	(開催地)	B:	(開催地)
ギャラリーコントロール	A:	(開催地)	B:	(開催地)
放送係	A:	(開催地)	B:	(開催地)
放送設備係	A:	(開催地)	B:	(開催地)
安全対策係長	A:	(開催地)	B:	(開催地)
医事主任		富永 好文		
広報係長		(開催地)		
広報係		上田 英之		
庶務係長		神戸 敏彦		
庶務係		(開催地)		
総務		(開催地)		

岡田 良平 八巻 秀樹

※変更する場合があります

